

ようこそ



授業実践
ギャラリー

普通科 作業学習

紙工班へ紙工班



「作業学習」というのは、特別支援学校の特徴的な授業で「各教科等を合わせた指導」のひとつです。足立特別支援学校普通科では「陶芸」「布工」「園芸」「紙工」「サービス」「清掃」「カフェ」の7班に分かれ、製作や業務経験を通して主体的に取り組める力を養い、働くために必要な社会性の獲得を目指しています。



紙工班では牛乳パックのリサイクルで、様々な製品を製作しています。いくつかの工程に分かれて各自が責任をもって作業しています。

開いた牛乳パックを作業しやすい大きさに整えたり、ふやかしたものをミキサーにかけたりしています。大切なのは決められた工程どおりに作業すること。仕事の基本です。





それぞれの工程では、生徒が作業しやすいように「治具」が工夫されています。これらの道具により、よりクオリティの高い「売れる」製品をつくることが可能になっています。

また働く上で大切なのが、一定の作業量をこなすことです。ある程度まとまった時間の間は、作業に集中することができること、目標の数を作り上げること。そうしたことも実際の職場では必要になりますね。



・カード状になった製品の角を落として
います。籠の中には作業を待つ素材が
たくさん入っていますね。こういうことも
嫌にならずに根気よく取り組むことが大
切です。



・装飾の小さなパーツを貼り付けて
います。ただ貼りついていればよい
ということではなく、お客様の手に
渡ってからも剥がれたりしないように、
丁寧に、十分にのりを付けています。

